

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 11 月 27 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/27 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	23.7	105.9 kPa abs	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	32.6	7.63 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.05 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	31.8	0.24 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

- ・11/12～12/9(予定) 1号機原子炉压力容器への窒素封入が停止した際に、予備として原子炉格納容器へ窒素封入を維持するため、O₂サンプリングラインを用いて、段階的に流量を変更する試験を実施中。
- ・H25/11/26～ 4号機原子炉建屋の健全性確認のための点検(平成 25 年度3回目(計7回目))を実施中。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/27 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	17.5
2号機	循環冷却システム	運転中	15.6
3号機	循環冷却システム	運転中	14.4
4号機	循環冷却システム	運転中	22.9

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。
- ・H25/11/28～30 4号機使用済燃料プール代替冷却系において、当該系の一次系ストレーナ交換作業を行うため約 52 時間停止予定。なお、4号機使用済燃料プール水温は 11/27 11:00 時点で 22.9℃であり、冷却停止時のプール水温度上昇率評価値は 0.306℃/hで停止中のプール水温上昇は約 16℃と評価されることから、運転上の制限値 65℃に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題はなし。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	11/22 9:44～ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	11/6 9:27～ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (11/27 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	A系・B系・C系 ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

- *2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。なお、B系については、本年12月下旬頃(予定)に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。
- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

- ・H25/10/21 13:50～ 6号機において、燃料集合体を原子炉内から使用済燃料プールへ移動させる作業を実施中。
- ・H25/11/26～ 高濃度汚染水が滞留している建屋に接続するトレンチについて、年1回の点検を実施中。
- ・H25/11/26～ 11/5に発生したえい航船のスクリューに巻き込まれたシルトフェンスの復旧作業を実施中。
- ・H25/11/27 10:50頃 所内ろ過水タンク付近において、原子炉注水訓練を行っていた際に、訓練に使用していた消防車より油が滴下していることを当社社員が発見。油の滴下は消防車の真空ポンプを起動した際に起きており、当該ポンプの停止により滴下は停止。滴下した油は、水に濡れたアスファルト上に約1m×約2mの範囲で油膜状に広がった状態であり、同日11:57に吸着マットにての回収を実施。今後、原因等を調査予定。また、同日11:00に双葉消防本部へ連絡し、同日14:00に富岡消防署より危険物の漏えいではないと判断された。

【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・11/26 11:03～ H4エリアタンクからの水の漏えいに伴う汚染の拡散防止策としてH4-No.5 タンクの北東側に設置したウェルポイント(5本)から地下水の汲上げを実施中。
- ・11/26 15:39 11/26に実施した汚染水タンクのパトロールにおいて、H9 エリアの堰ドレン弁(H9-B1 タンクの南側)より、堰内の溜まり水が滴下(1滴/秒程度)していることを確認したとの連絡あり。同日17:00に当該堰ドレン弁の増し締めを実施し、滴下は停止。当該堰ドレン弁から滴下した箇所には水溜まりはなく、直径2cm程度の染みを確認。当該堰内の溜まり水の分析結果は、セシウム134 およびセシウム137 はいずれも検出限界値未満、ストロンチウムは4.0Bq/Lであったことから、堰ドレン弁から滴下した水は雨水であると判断。

<H9タンクエリア堰内溜まり水分析結果(採取日11月26日)>

- ・セシウム134:検出限界値未満(検出限界値:12 Bq/L)
- ・セシウム137:検出限界値未満(検出限界値:18 Bq/L)
- ・ストロンチウム90:4.0 Bq/L

今後、当該堰ドレン弁の交換を行う予定。

<タンクエリアパトロール実績(11/26)>

- ・高線量当量率箇所($\beta + \gamma$ 線(70 μ m線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・サーモグラフィーによる水位確認については、11/25の雨の影響により撮影できなかったことから実施していない。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・H4エリア周辺の地下水観測孔の測定結果(11/25 採取分)において、今回初めて測定した観測孔E-9のトリチウムは51,000Bq/Lであることを確認。その他の測定結果については、前回と比較して有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・11/26 採取分の測定結果について、前回と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1・2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は11/27 0:00時点で約6,001m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取分の測定結果と比較して有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

- H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。(有意な変動なし)
- H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- H25/10/23～ 地下貯水槽 No.6 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/15～ 地下貯水槽 No.5 において浮き上がり対策を実施中。
- H25/11/19～ 地下貯水槽 No.1 において浮き上がり対策を実施中。

以上